菊花大会ひらかる

老人クラブ主催

12月25日より一週間橋場青年館で花の祭典とも云うべき菊花大会が開かれた。

菊造りに思う

老人クラブ　向後清重

町老人クラブでは、多年の宿望であった、「菊花部」を四十一年度に部員四十五名をもって組織した。

以来町当局の協力と、鈴木宗太郎氏、伊橋卯之松氏、土屋徳太郎氏、布施正雄氏らの格別なる指導と部員各位の努力によって、年毎に盛会をきわめている。

さらに、鈴木明氏の「菊造りのコツ」は同氏が長い間研究を重ねたもので、よき指針ともなり裨益するところが大であった。

そこでわたくしは、これまで盛んになった、菊造りと展示会をぜひ町の観光事業の一環として取り上げていただくことを望んでいる。

菊造りは、花いっぱい運動にも結びつけて、町を明るく美しく飾り、年寄りたちのせめてもの奉仕にかえたいものである。

見事に開花した菊

養豚研修を終えて

尾垂六区　伊藤孔二

学校を卒業して二年目となるというのにただ親の仕事を手伝っているだけでは、世間の事を知らない「井の中の蛙」になってしまうのではないかと思い、もっと広い見地から自分の生活というものを見なおそうと思っていた矢先、教育委員会で、富士宮への一ケ月の養豚研修生募集中という有線放送を聞いて、しめたとばかりに手続をとった。

友達の中には、一ケ月もただ働きするなら土方に一ケ月行った方が得だからやめてしまえ、と言う者もいたが、富士宮に着いて、富士の大な裾野の中に立つと、ややもすると目先の事に気を取られがちな自分の生活がはずかしくなる。

仕事も朝六時起床、食事そして七時に豚に飼をやり畜舎の清掃が二時間位、夕方は日没前二時間位の間に朝と同じ仕事をして、午後六時頃夕食九時消灯という、かなり楽な日程であったのでよかったが、他の二人の所は、もうすこし仕事がきつかったらしい。

一ケ月の研修では、余りにも短すぎると思われる。せいぜい三ケ月位はほしかった。短い間だったが、自分にはプラスになった点が多かったと思われる。

毎日、富士を見て暮すだけでも、いくらかなりとも人生の進路も決まる事だと思うので、大いに研修に行って学んでもらいたい。

それから、自分も富士宮へ研修に行きたいという人は、我々三人か教育委員会へ相談していただければ、町でも助力してくれるはずです。

○お願い○

世界農林業センサス

農林省では、一九七〇年世界農林業センサスを実施します。

このセンサスは、農林業についての最も規模の大きい総合的調査であり、国際連合食糧農業機関の提唱のもとに、世界百余カ国が参加して十年目ごとに各国一斉に行なう国際行事であり、農林業についての国勢調査ともいうべき大切な調査です。

農林業センサスの主な目的は、わが国の農業、林業の実態を明らかにし、農林業生産力の発展と農林家生活の安定向上を目的とする農林業政策の企画立案に必要な基礎資料を作成することにあります。

農家および林家の個々の状態を知るための調査と、農業集落（部落）別に農業の生産基盤や農家の生活環境を調査する農業集落調査の二種類があります。ご多忙中誠に恐縮ですが、部落の調査員が伺いました時は、みなさんのご協力をお願いいたします。

火災をなくしましょう

火災シーズン

〝今すてた煙草の熱が七〇〇度〟

いよいよ今年もおそろしい火災シーズンがやって来ました。

これからの外出時や就寝前の火の元は必ずもう一度安全を確かめる習慣をつけましょう。

就寝中の火災による死者は依然として多く、特に老人、子供、病人を残して外出中の火災は思わぬ事故になることが予想されます。

その他、たき火の跡始末や、たばこの吸殻は、かならず消すことを実行し、ちょっとの不注意から尊い生命財産を焼失しないよう常に火災予防には十分気をつけましょう。

〝戦没者遺族の皆さん〟

「特別弔慰金」と「父母の特別給付金」が昨年の十月一日から次のように改正され、支給範囲が拡大されましたので、該当する方はなるべくはやく役場厚生課へお問合せください。

◎特別弔慰金については、

これまでの法律では、戦没者の死亡当時、戦没者と生計関係のなかった方あるいは戦没者の死亡後他家に嫁いだ方などには支給されませんでしたがこれらの条件がとりのぞかれました。

ですから、まえに五万円または三万円の弔慰金を受けた方があり、その方が昭和四十年三月三十日までに死亡している場合等で遺族のとなった遺族年金とか公務扶助料等の年金を受けていない場合で、今までの法律に該当する遺族がいないときは戦没者の父母、孫、祖父母および兄弟姉妹の順で請求できます。

◎父母の特別給付金については

(1)戦没者の死亡が昭和十二年七月七日以後であること。（同日前に受傷、り病した者を除く）

(2)昭和四十二年四月一日において遺族年金または公務扶助料等の年金を受けていること。

(3)戦没者の死亡の日において子または、孫があってもその者がすべて父母または祖父母と氏を異にしていること。（他人の養子または、他家に嫁いでいる場合をいう）

(4)戦没者の死亡の日から昭和四十四年九月三十日までに氏を同じくする子も孫も生じなかったこと。（他人を養子にした場合は子を生じたことにならない）

かしこい消費者に

婦人会長　平山多美

〝奇形児をうむ恐れがある〟と以前から懸念されていた、人工甘味料のサイクラミン酸ナトリウム（チクロ）がこんどは「発ガンの恐れがある」として、米国で全面禁止となったため、我が国をはじめ各国でも続々と使用禁止に踏み切った、しかし長いあいだあらゆる食品に使用されていただけに、業者はいうにおよばず、台所をあずかる主婦にとっても、そのショックは大きい、そこでこのチクロの毒性をめぐるさまざまな問題を求明する為、婦人会では四十四年十一月三日、東京新生活事業センター専門委員の新井通友先生を迎え橋場青年館においてご講演を開きました。

その内容は

石炭から作られる結晶性粉末で砂糖の四十倍の甘さの特徴をもつチクロは、日本でも昭和三十一年に使用が許可され、現在年間八千トン生産されております。

このチクロの使用は広く！菓子、パン、ジュース、アイスクリーム、かんづめ、煮豆、つくだに、ソース、ケチャップ、ジャム、つけもの、めんつゆ、などありとあらゆる一般食品の他、栄養にならない甘味料として、糖尿病患者等にも重宝なり、宣伝、広告、安い、きれい、うまい、にまわされず、安全性を買物の第一として、インスタント食品でなく、自然食に切り替え健康で明るい家庭を作ることこそ、私達主婦のつとめであると思います。

又お酒にはサルチル酸（県内清酒には入っていません）かまぼこ、玉うどん等には過酸化水素ニオキシフル）が入っております。

これらについて使用禁止されたが、その製品は二月まで販売されると云う事です。こういった先生の話しをきき、これから不安の中で安心して食生活が出来るよう、商品知識を高め、かしこい消費者となり、宣伝、広告、安い、きれい、うまい、にまわされず、安全性を買物の第一として、インスタント食品でなく、自然食に切り替え健康で明るい家庭を作ることこそ、私達主婦のつとめであると思います。

よい子の作品

日吉保育園　いとうかずゆき（5才）　日吉保育園　すずきりえ（4才）　日吉保育園　つちやなつこ（4才）　日吉保育園　あきばとしかず（5才）